

ごみ減量化モデル事業 実施しています

町では、家庭から出るごみの7割以上を占める「可燃ごみ」の減量を行うため、平成31年3月から、「可燃ごみ」の約4割を占めると言われる「生ごみ」と、約2割を占めると言われる資源にできるごみのうち、特に「雑がみ」の取り扱いを見直し、循環型社会を目指す「ごみ減量化モデル事業」に取り組んでいます。今回はモニターでご協力をいただいている30世帯の皆さんの中から4名の方をお願いして、事業開始から半年を経過した中での話をうかがいました。

目的 ごみ減量化の効果を検証し、町全体での取組みへと発展させる

期間 平成31年3月1日～令和2年3月31日

対象 上郷地区と番匠1区 各15世帯

主な活動内容

- ・徹底したごみの分別
- ・生ごみの自家処理^{※1}
- ・雑がみの資源化^{※2}

- ※1 可燃ごみの重量測定を週2回行っています。
※2 雑がみの重量測定を月2回行っています。



期待される効果

- ・生ごみの自家処理及び雑がみの資源化による「可燃ごみ」の減少
- ・小川地区衛生組合へ支払う負担金の減少
- ・資源物売却収入の増加

ごみ減量化モデル事業 協力15世帯

番匠1区

インタビューに協力してくださった方



生ごみは大きく減らせました

町 モニターを半年続けられて、「これは以前と変わったな」と気づいたことや実感されたことはありますか？

新井さん 今まで以上に「雑がみ」を分別して資源化を心掛けています。変わったといえば、分別する時に今までは雑がみと判断していたものが違っているものもあったので、雑がみとして出しているものかどうかを再確認するようになりましたね。

鹿山さん やはり、「雑がみ」の分別と生ごみの水切りを以前よりも意識するようになりました。集積所に持っていく時もごみ袋が軽くなりましたし、集積所に出ているごみの量も以前より減った気がします。

町 集計データを見ても雑がみの資源化が以前よりも確実に進んでいますね。また、生ごみは可燃ごみの中で大きな割合を占めるので減量効果が大きいんです。

ごみ出しに行く回数が半分で済みます

町 生ごみを減らすために工夫していることはありますか？

新井さん 生ごみはコンポスト容器で堆肥化をしています。コンポスト容器で分解されにくい柑橘類の皮などは直接畑に入れているので、生ごみはほとんど出ません。可燃

ごみの日は週2回ですが、火曜日に出すだけで間に合っています。

鹿山さん 生ごみの水切りですね。広報にも何度か載っていますし、水分を減らして無駄をなくすことを心がけています。

町 週1回の排出で間に合うのは大きいですね。他にご意見や提案はありますか？

新井さん 使い捨てになるものを使わない、無駄なものを買わないなど、ごみを増やさないように意識することがごみの減量につながると思います。

鹿山さん 以前、生ごみ処理の件で、コンポスト容器を持っても正しい使い方がわからないと相談を受けたことがあるのですが、コンポスト容器等の正しい使い方についても、またお知らせしてもらえるとありがたいですね。

町 生ごみ処理機器の補助金交付も行っていますし、改めてお知らせや案内を行う予定です。



ごみ減量化モデル事業 協力15世帯

上郷地区

生ごみが減ると、袋がこんなに軽くなるんですね

町 モニターを半年続けられて、「これは以前と変わったな」と気づいたことや実感されたことはありますか？

村田さん 生ごみが減ったことで集積所がきれいになったと思います。以前は袋が破れて中の汁が出ていたり、油污れがあったりしたのが無くなりました。袋が軽くなりました。袋が軽くなりました。

長谷川さん 確かに生ごみが減ったことで、だいたいが袋が軽く感じるようになりました。それから、集積所に出す回数も減りましたね。

町 ごみの量が減ることは小川地区衛生組合への負担金削減につながりますし、出す回数が減ることで収集回数を減らすことができます。大幅な軽費の削減につながります。ごみを減らすにはどんなことが有効だと思いますか？

村田さん やはり、生ごみの水切りとコンポスト容器の有効活用だと思います。コンポスト容器は、以前は虫の発生や悪臭で使うことが少なかったのですが、改めて虫対策や木の葉を入れたりする使い方の工夫で積極的に使うようになってから、明らかに生ごみが減りました。せん定枝や草なども集積所に出される量は減りましたが、そちらももっと減らしていければと思いますね。

長谷川さん 私もコンポスト容器を積極的に使うようになったことでしょいか。明らか



に生ごみを減らせたと思います。

町 虫やにおいの対策次第で、もっと活用してもらえる機会が増えそうですね。せん定枝や刈草の受入れ施設も積極的に活用していただけたらと思います。自己搬入なので持ち込むための準備等は必要ですが。

村田さん 地域で持ち込める人が代表で持ち込むというのも一つの方法だと思います。全体としていってはどうかというところですね。町 地域全体での協力は大切ですね。

ぜひ、町全体に

取組みが広がってほしいですね

町 他にも何か町への提案やご意見等があればお願いします。

長谷川さん 「無駄なものを買わない」「子どもも含めて家族間で分別のルールを守る」という意識を家族みんなが持つこともごみの減量につながると思います。「意識して行こう」ことが大切だと思いますね。

村田さん 先ほどのごみの削減に伴う経費の削減も、町全体での取組みとなればかなりの効果が期待できると思います。ぜひ町全体に広がっていくといいですね。